



言うてんか！聞いてんか！



# 初 の委員会別開催

第13回

# 議 会 報告会



松阪市議会

令和元年11月

# 決算を審議して、予算へつなげます



市民の代表として  
チェックします！

市議会

## 決算を審議

②

予算は適正かつ効果的に使わ  
れたか？ 事業の成果は？



決算調査特別委員会で審査し、本会  
議で決算を認定（不認定）します。

①

決算議案を  
議会に提出

9月

⑦

予算執行  
4月～翌3月

④

予算編成

③

認定  
(不認定)

決算を審議した  
結果は、今後の  
予算編成に生か  
されます。

⑤

予算議案を  
議会に提出

2月

可決  
(否決)

⑥

## 予算を審議

4常任委員会で審査  
し、本会議で予算を  
決定します。



# 行政チャンネル アイウェーブまつさか





## 一般会計・特別会計決算の概要

**予算現額 1,253億6,246万円**

**歳入決算額 1,234億6,163万円**  
(前年度比4.2%増)

**歳出決算額 1,195億 78万円**  
(前年度比4.4%増)

**繰越財源 2億7,225万円**

**実質収支額 36億8,860万円**



# 一般会計(歳入696億3,976万円)

その他

1.7% 地方消費税交付金

4.4%

県支出金

6.5%

市債

10.5%

国庫支出金

13.5%

地方交付税

20.6%

依存財源  
57.2%

自主財源  
42.8%

市税  
31.6%

繰越金  
3.1%

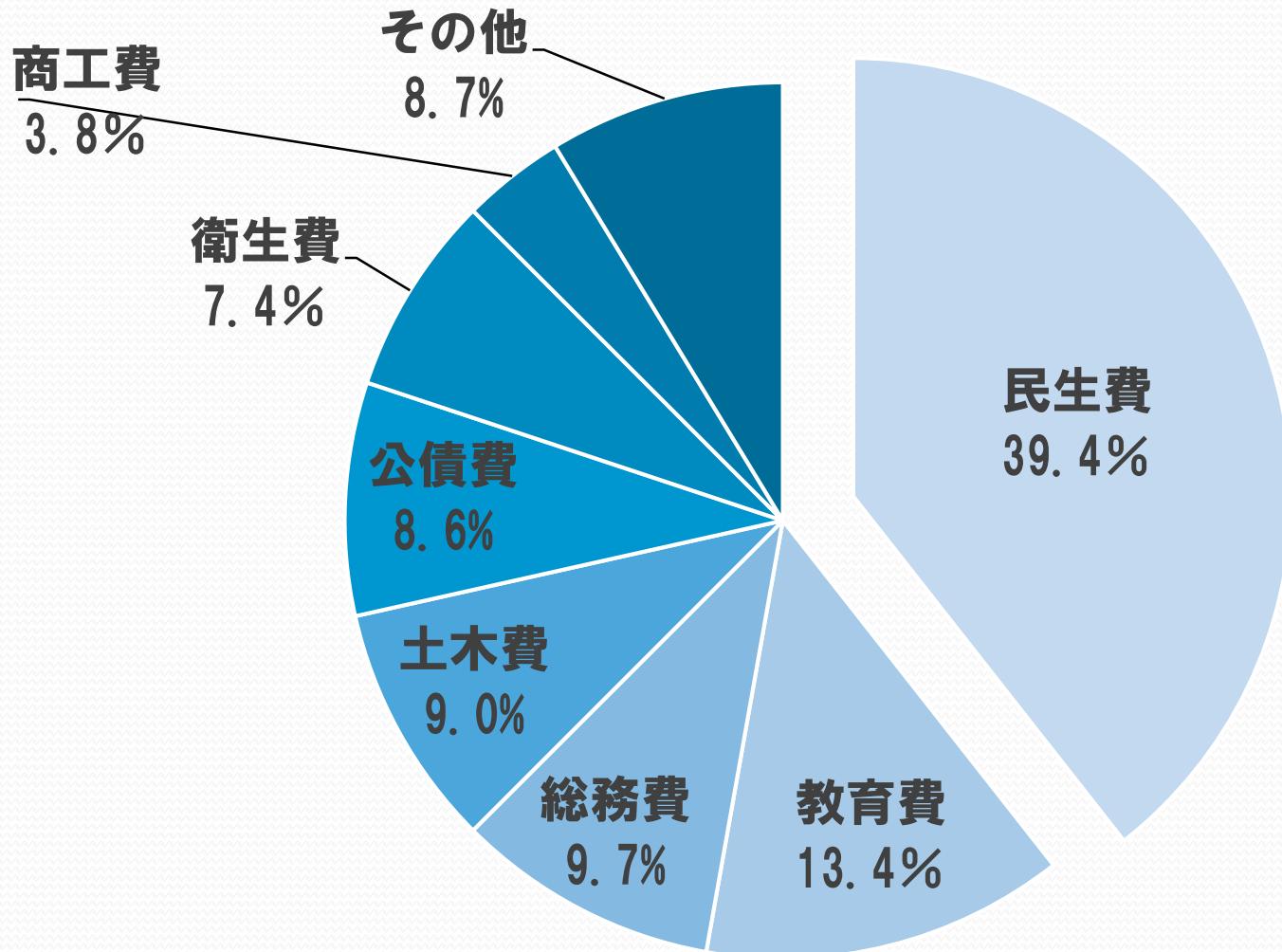
繰入金  
2.7%

その他  
3.7% 諸収入  
1.7%

(収入率は97.1%)



# 一般会計(歳出670億4,535万円)





# 決算議案の議決結果



議案第82号

松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の  
認定についての採決の様子



# 総務企画分科会



## 【所管事項】

- ・市の基本計画・財政・税
- ・防災・消防・広報



# 一般会計歳入について

Q 個人市民税と法人市民税について、調定済み額における収入済み額が前年度比較して大きく伸びているが、分析は？



A 個人市民税については、雇用環境や所得状況の改善、緩やかな景気回復による影響で、給与所得が増加したことに加え、株式譲渡所得が増加となったこと、また、法人市民税については個人消費や設備投資が堅調に推移し、国内経済が緩やかな景気回復を続けたことが要因である。



# 公共施設マネジメントについて

Q 公共施設の合計延べ床面積を削減する目標値と実績数値との乖離について、どう考えるのか？



A 各施設の状況や市民ニーズを踏まえ市民サービスを低下させることなく削減目標を達成するにはかなり厳しい状況である。各施設の老朽化に合わせ中長期的な視点で全庁的に公共施設マネジメントを進めていくため、延べ床面積の削減目標だけでなく維持管理経費を含めた総コストで検討していく。

Q 目標値に無理があるのであれば、上位計画の目標数値を改めることになるのか？

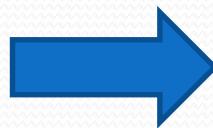


A 次期総合計画において見直す方向で考えたい。



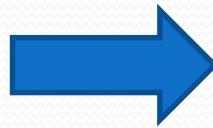
# 地域マネジメント推進事業について

Q 住民自治のあり方検討会などを行ったが、その評価は？



A 地域組織を一本化、予算の一元化の提案を示し、住民協議会、自治会連合会の2者で協議を行っていただいた。両者からも提案をいただく中で着実に進めている

Q 組織の一本化、予算の一元化について、地域ごとに特性があるので、市が提示して進めて行かなかつたのか？



A 住民自治に直結するものであり、地域の皆さんの理解が必要であるので、一定の時間が必要である



# 空き家バンク活用補助金について

Q 決算額が前年と比較し少なくなっているが要因は？

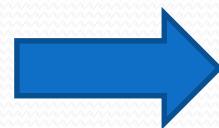


A 契約件数実績は14件で、前年より増え、29人が契約し移住していただいた。決算額が少ないのは物件が比較的新しく良質であったことにより、補助金の活用が少なかったことによるもの



# 防災行政無線整備事業について

Q 飯南・飯高管内デジタル同報系の防災行政無線の状況は？



A 平成30年度から2カ年かけ飯南飯高管内のアナログタイプの防災行政無線をデジタル化に切り替える計画で、平成30年度分の整備工事費においては飯南管内の工事を行った。

Q 防災行政無線が聞き取りにくかった場合に、放送内容を確認することができるシステムは、何か構築できたのか？



A 自宅の固定電話に直接防災無線と同じ情報を流すことができるシステムの構築や令和元年度開始に向けて防災のテレホンサービスのシステムの構築に取り組んだ。



# 公債費について

Q 昨年度の公債費の増額補正は合併特例事業債にかかる短期償還のためとの説明であったが、海上アクセス事業などの起債償還は残っているのか？



A 海上アクセス事業などの長期債は償還中である。

Q 短期償還が可能ということは、税収が多かったことや財政調整基金の残高があり、財政運営が良好と理解して良いのか？



A 短期償還ができるのは交付税措置があること、財政調整基金の残高があることによるもの。

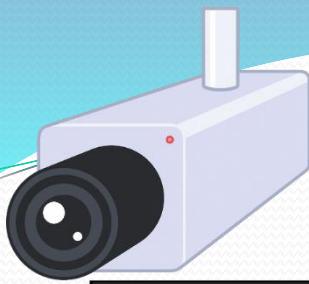


# 環境福祉分科会



## 【所管事項】

- ・お年寄り・障がい者・保健衛生
- ・保育園、幼稚園・子育て
- ・交通安全・病院・ごみ・環境



## 防犯カメラ設置補助金

Q: 補助金の申請状況と設置状況は?

A: ランニングコストやプライバシーなどの問題により  
自治会内で合意形成が取れず 10の自治会に設置

## 老人福祉一般経費

Q: 救急情報キットの配布数は?

A: 7,000個用意していたが 3,726個配布した  
障がいをお持ちの方や希望者へ民生委員を通じて配布





## 一時預かり事業費

Q: 預かり保育をする際に理由は?

A: 病院の付き添いや家族の用事 134人、仕事復帰準備 120人  
美容院の利用やリフレッシュのため 70人、通院のため 47人

## 母子保健事業費



Q: 子育てアプリ「まつプリ」の周知方法は?

A: 母子手帳交付時や赤ちゃん訪問時に説明している  
幼稚園保育園保護者の周知について関係課と協議していく



## 母子保健事業費

Q: フッ化物洗口事業について虫歯への有効性は？

A: 1歳半検診では虫歯の有病率が0.8%、3歳児14.8%  
小学校1年生で虫歯の無い子が52.1%  
歯科衛生士による歯磨き指導も行っている。

## 認定こども園進捗状況

Q: 大石幼稚園、みなみ保育園を統合して  
新たに認定こども園をつくるのか？

A: 土砂災害警戒区域に建っており、  
移転場所は災害に強い場所を検討している。





## 市民病院事業決算

Q: 医療スタッフの確保は?



A: 修学資金貸付制度などのPR。  
育児休暇の制度は民間より充実している

Q: 老朽化対策は?

A: 計画的に状況を見ながら  
老朽化対策を行っていく

## 塵芥収集事業費

Q: 不法投棄防止監視パトロール  
業務委託についての成果は?



A: 不法投棄があった場所を中心に9回合計36回パトロール  
を行った。そのうち4回で不法投棄ごみの回収があった。



# 文教経済分科会



## 【所管事項】

- ・農林水産・商工業
- ・文化・スポーツ
- ・教育・学校

# ★ 一般会計歳出の労働費及び財源



## 質疑：

潜在専門職トレーニングプロジェクト事業は、平成30年度で事業を完了したが、その総括及び評価は。



## 答弁：

参加者は減少したが、総括すると、看護師12人、介護士11人、保育士15人が復職・就職され、

研修会についても、それぞれ関係団体に事業承継もできたことから、非常に意義のある事業であったと捉えている。

# ★ 農林水産業費及び財源



## 質疑：

認定農業者の更新を辞退された方が、5人いるが、その主な理由。またその農地を他者が借りて就農するケースと新規就農者に対して市の支援はあるのか。



## 答弁：

辞退の主な理由は、高齢化により営農を継続できなくなったためである。

他者が就農するケースは、利用権設定により、地域の中心経営体や別の認定農業者に貸借する場合、また中間管理機構に預けるなど農地を集積していくケースが考えられる。

新規就農者への支援は、農業機械購入等に補助する支援補助金があり、3名に補助した。

# ★商工費及び財源



## 質疑：

地域公共交通システム事業の利用者も一部を除けば利用者が減っているが運営側としてどう捉えているか。

また地域の要望だけでなく、今後の方向性について話し合った実績はあったのか。

## 答弁：

利用者減少の要因は、人口減少、中山間地域の過疎化などが考えられる。

空白地帯の要望は多数あるが、高齢化が進む中、今のやり方では、費用だけがかかり、実際の乗客は少なくなる状況にある。

# ★ 教育費及び財源



## 質疑：

教育支援センター鈴の森教室、三雲やまゆり教室に通室している人数と交通手段、また通えない子ども達の対策は。

## 答弁：

通室は33人、小学生は保護者が送迎、中学生は自転車や公共交通機関を利用している。

通えない子ども達に対しては、年間数は少ないが、訪問相談も実施している。

★ 商工費及び財源では議員間討議があり、それぞれの意見が出ました。



意見：

社会背景、情報発信などの要因が考えられるが、どの事業も参加者が減少しているのではないか。

意見：

商工観光部門は、行政としても非常に重要な部門であり、事業のマンネリ化から見直しも必要である。

意見：

去年やった事業をそのまま継続するという姿勢では、いけない。社会背景も含めた検証を行うべきである。

意見：

若者をターゲットにしたイベントも検討した方が良い。

意見：

過去からの問題点等の分析が行われていないように感じる。商工観光に文化が組み合わさり多様性が出た。この部分を積極的に活用し、委員の総意と捉え、この委員会で今後調査を行っていきたい。



# 建設水道分科会



## 【所管事項】

- ・都市計画・道路・河川
- ・住宅・公園・上下水道



# 1.道路維持修繕事業

Q：地元要望があつた修繕件数と実施件数及び割合は？

A：建設保全課所管へ632件あり、その内391件を実施、62%の割合である。

Q：道路維持修繕事業費内の原材料費の内訳は？

A：257件、3,957万6,557円分を支給している。

内訳は、自治会へ支給したものが14% 市職員が直営で使用したものが 37% 工事、修繕に合わせて支給したものが49%である。

Q：川沿いや用水路にガードパイプやガードレールの設置が進んでいるが、どのような基準でどの事業で実施したのか？

A：用水時期に水深が深くなる用水路などで、通学路になつており危険であると要望を受けた場所に対し、交通安全対策施設整備事業費で設置した。



## 2.空き家対策事業

Q： 空き家無料相談会での対応者と相談内容は？

A： 空き家ネットワークみえで対応した。内容は相談者のほとんどが所有者で空き家の処分や利活用の方法、建物の除却、相続関係での相談であった。

Q： 空き家所有者以外からの日常の相談内容は？

A： 空き家の近隣住民から1ヶ月に20件ほどの相談があり、放置された瓦や外壁の飛散、草木の越境に対する苦情などである。



### 3.市営住宅管理運営事業

Q：市営住宅使用料の収納率が順調に向かっている要因は？

A：滞納額、滞納月数が少ない早い段階で、滞納者と接触することを重点的に取り組んでいる。また、滞納に係る最終通告に対して、連絡や支払いのない方には、法的措置を検討する厳しい対応で臨んでいることが大きな要因である。

Q：用途廃止に向けての住みかえ実績と進捗状況は？

A：平成30年度の住みかえは10戸であった。令和8年度末までに対象団地での残り70戸を完了させることを目標としており、順調な進捗である。



## 4.水道事業

Q: 平成30年10月から導入した隔月検針、隔月請求による未収金への影響は？

A: 平成30年度の収納率は、99. 92%であった。

平成29年度以前と差がないことから、未収金への影響はなかったと考える。

Q: 隔月検針、隔月請求に変更したことによる、経費削減額は？

A： 6カ月で約3,200万円の削減となった。

# 行政チャンネル アイウエーブまつさか





# 説明に対するご意見 をお聞かせください。



松阪市議会



## 第2部

# 意見交換会

## 各委員会ごとのテーマ



ゴミ清掃



救急・消防



図書館



道路工事



児童福祉



高齢者福祉

**松阪市議会**



# ご意見をお聞かせください。

松阪市議会



# 第13回議会報告会



ご清聴ありがとうございました。

松阪市議会